

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第3報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：12月11日 10:30~14:00（検鏡 12:20~14:00）

天 候：雨

調査員：谷川支所養殖組合（渡辺喜代寿，石森克治，木村忠芳，渥美 英俊，石森 旦）

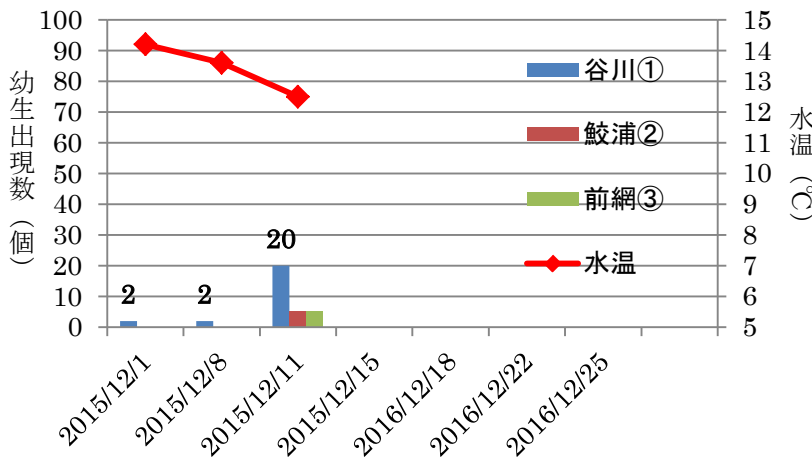
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は全調査点とも 12℃台でした。
2. マボヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて 5~20 個と、前回に比べて増加しました。
3. また、ユウレイボヤと思われる幼生が 0~12 個見られました。

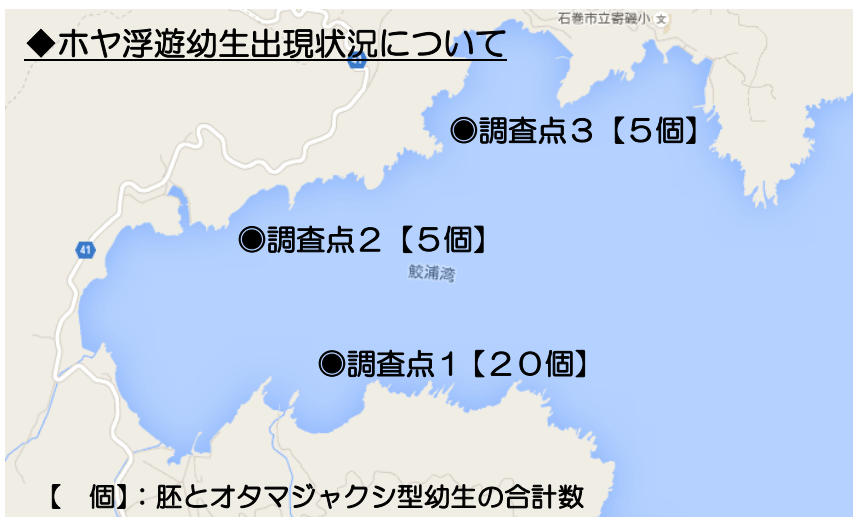
調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	12.3	20	9	11	20	その他ホヤ幼生12
2 鮫浦	12.8	14	2	3	5	その他ホヤ幼生4
3 前網	12.4	8	2	3	5	その他ホヤ幼生0

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



【 個】：胚とオタマジャクシ型幼生の合計数

① 調査風景（あいにくの雨でした）



② 検鏡風景



③ マボヤとユウレイボヤ幼生 →マボヤのほうが大きいです。

